

A-PARTNERS

足立区のNPO情報紙
つくる。つながる。ひろがる。

No.30
2020年6月15日発行



特集

女性のキャリアと地域活動

足立区竹ノ塚ママとベビー・キッズのコミュニティ Koen

聞きたいあなただけのストーリー

豊かな人生 CREATE akari's 家

センターピックアップ

育てよう!いのちの根っこ

頼って!おいでよ!子育ておまかせ処

NPO法人 presents / NPOハレオリオリ

コラム:コーディネーターのつぶやき

市民活動・NPO活動とは?

編集・発行 2020年6月15日 足立区NPO活動支援センター

〒123-0831

足立区梅田7-13-1(梅田図書館1F)

TEL:

03-3840-2331

FAX:

03-3840-2333

E-mail: information@adachi-npo-center.com

担当所管: 足立区 区民参画推進課 区民参画支援係 TEL: 03-3880-5020

足立区

子どもの居場所

子育て支援

安心して暮らせる環境や仕組みづくり



頼って!おいでよ!子育ておまかせ処



NPO法人 presents

主な活動場所: 足立区東部
お問い合わせ : presents.npo@gmail.com

私たちが暮らす社会そして子どもたちが生きる未来のために「今の」私にできる取り組みが、明日を生きる人々への「贈り物」になりますように...

活動内容

- ★ 子どもの身体づくり、食育イベントの企画・運営
- ★ 子どもの発達支援・相談
- ★ 子どもと多世代の居場所づくりなど

メッセージ

理学療法士で構成している団体です。子どもの運動機能低下を危惧し、身体を育むイベントなどを開催しています。お子さんの身体が気になっている方、お気軽にご相談ください。



NPOハレオリオリ

主な活動場所: 足立区全域
お問い合わせ : haleolioli@gmail.com

スペシャルニーズな人たちとその家族や支援をする人が楽しく過ごせる場所

活動内容

- 特別な支援や配慮が必要なスペシャルニーズな人たちが楽しく過ごせる居場所づくりや、舞台発表・ボランティア活動を通して、地域の中で生き生きと暮らすお手伝いをしています。

メッセージ

「ハレオリオリ」とはハワイ語で「楽しく幸せな家」という意味です。スペシャルニーズのある人もない人も一緒に楽しく活動しましょう!



「くわしく聞きたい!」
「自分も何か始めたい!」
と思ったら...

地域にどんな活動があるのかな?
私にも何かできるかな?
もっといろいろ知りたい!
と思った方は、足立区NPO活動支援センターにアクセスしましょう。



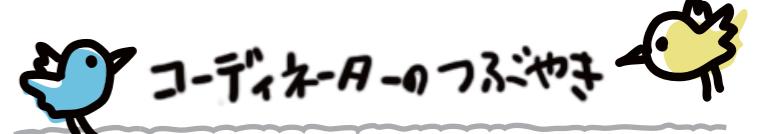
Twitter



Facebook



足立区梅田7-13-1
(梅田図書館1F)
TEL 03-3840-2331
information@adachi-npo-center.com



市民活動・NPO活動とは?

皆さんNPOという言葉を聞いたことがありますか?

地域課題や社会課題が多様化、複雑化する今、NPOが改めて注目されています。Non-Profit Organizationの頭文字を取り「NPO」、直訳すると“営利を目的としない組織”となり、非営利組織と総称されます。

NPOが行う【社会の人たちのため】に【一度だけでなく継続的】に【市民自らの意思】による、【営利を目的としない活動】である市民活動・NPO活動(以下NPO活動と表記)について、改めてまとめると以下の4つになります。

①市民の主体的活動である。

③継続的に行われる活動である。

②不特定多数を対象にした活動である。

④営利を目的としない活動である。

この4つの特徴を併せ持ちながら活動することをNPO活動と呼んでいます。ボランティア活動と似ている部分もあるのですが、大きな相違点としては【ボランティアは個人、NPOは組織である】、【ボランティアは原則無償、NPOは必要とあらば収益を上げることも可能】という点が挙げられます。

女性のキャリアと地域活動

等身大の自分にできることを仲間と協力してやる
子どもとお母さん、地域をつなぐ場所、それが Koen

「はじまりはブログで
思いを伝えたことからでした。」
そう語るのは『Koen』の代表で
発起人でもある山本さん。

元々保育士をしていた山本さんは、仕事帰りのお母さんたちが、子どもを迎えると瞬時に気持ちが切り替わり、ママの顔になるのを見きました。その一方で、家庭に入っているお母さんたちの気持ちを、当時はよく理解していました。しかし長男の出産を機に自身の保育観がガラッと変わりました。子育ての大変さと大切な時間を痛感するようになり、親として子どもを見るようになっていました。そして第二子の出産を機に十年ほど勤めていた仕事を辞めることにしたのです。

第二子が生まれて、子どもとの生活の中で、ママ同士の【関わり】の大切さを感じるようになっていきました。自宅でベビーマッサージの教室を始め、さらに三人目の子どもができるとベビーダンスのインストラクターにも挑戦し、そのつながりがママ同士の小さなコミュニティへと発展していきます。それがきっかけで【子どもとの縁】【子どもを介して大人同士をつなぐ縁】みんなが集まる【公園】のような場を作りたいという思いがどんどん強くなつていき、それをブログに書いたところ、共感してくれる人が集まり、子どもの年代に関係なく、お母さんや地域の方とつながれるコミュニティ『Koen』を立ち上げました。

二〇二〇年の九月で五年目を迎える『Koen』は、現在メンバー九名。それぞれが担当を受け持ち、山本さんは担当者のサポートを行いながら全体をまとめるのが役割です。活動は月に一度の『のびのび親子広場』事業や、地域情報誌『Koen Letter』の発行、未就園児の『おやこ園』のほか、クリスマスやハロウィン、マルシェなどの季節のイベントを行っており、多い時には参加者が四〇組一〇〇名を上回る規模にまで成長しました。

順調に歩んできているように見える『Koen』ですが、悩みがなかつたわけではありません。子どもとの時間を大切にしたいと思つて始めたことですべて、活動に時間をとられてしまうことへのジレンマを感じることもあったようです。「やめた方がいいのではないか」という気持ちを自身の子どもにも正直に相談したところ、「私は『Koen』が好き。ママ楽しそうだし、続けねばいいじゃない」といわれ、背中を押されたように感じたといいます。

「背伸びをせずに等身大の自分にできることをやつしているだけ。ただ、一人では出来なかつたと思います。あの時、ブログでやりたいことを正直に書いたことで、最初の一歩を踏み出すことができました。今後は、お母さんたちはもちろん、小学生になった『Koen』の子どもたち、さまざまな世代の地域の方々が常に集まれるような拠点を作るのが夢です」と語る山本さん。力強さも感じる温かい笑顔が印象的でした。

足立区竹ノ塚ママとベビー・キッズの
コミュニティ Koen 代表

山本 亜紀子



足立区竹ノ塚ママと
ベビー・キッズのコミュニティ Koen

活動内容：親子ひろば、親子向けワークショップの
イベント開催や運営など。Koen Letter 発行。
ママとキッズのサードプレイス準備中。
活動場所：足立区内の施設、舍人公園など
連絡先：community.koen@gmail.com
URL：http://adachi-koen.com

新規登録団体紹介

聞く きたい あがただけのストーリー

豊かな人生 CREATE akari's 家

代表 田中 紀世

来てくれる人が「ぽつと温かくなる」
ハンドメイド、ワークショップを。

Q 活動をする上で大切にしていることはありますか？

ストレスが原因で病気が発覚し、ドクターストップで仕事を辞め、これから生き方を変える時だと感じました。『自分の好きな物達を集めて一つの形にしたい』という思いとハンドメイド作家の友人がきっかけとなり、立ち上げました。

Q 活動をする上で大切にしていることはありますか？

【思い】や【イメージ】のある方と一緒に、akari's 家を通していくと同時に、笑顔の輪を広げていければ素敵だなと考えています。ワークショップやフレーマーケットなどもやっています。『こんなことを形にしたい』という方がいらっしゃいましたらぜひ一度いらしてください。



akari's 家 応援団 大募集！
SNS のフォローやリツイート、イベント開催に伴いチラシを置いていただける方、場所をご提供いただける方、お声かけください！
akarinchi.4124@gmail.com

注目の活動 育てよう！いのちの根っこ

セントラーピックアップ

育てよう！いのちの根っこ

代表 中澤 祐子

足立区内の中学校で「いのちの授業」を行っている任意団体「育てよう！いのちの根っこ」が二〇二〇年三月で八年目を迎えました。「自分の命つてすごいんだ！」って、本物の赤ちゃんと触れあうことで感じてほしい。いのちの授業に来た赤ちゃんが、十五年後に今度は自分が授業を受け、さらに十五年先を感じることができつながりをつくりたい」と語る中澤さん。これからも、多くの中学生がこの授業に出会えることを願っています。



いのちの授業。
生きるための根を育てる
inotinonekko@gmail.com